

全学内部質保証委員会検証における意見への対応

部局等：遠赤外領域開発研究センター

評価結果における意見等 (※問題点や改善を要する事項、改善が望まれる事項等)	対応状況
<p>外部／第三者評価委員の評価では、「中央省庁へのアピール」不足や「地域や社会でのプレゼンスの向上」を課題に挙げる指摘もあった。「地域連携」と「異分野融合」に人員や財源の不足の解消に繋がる可能性が秘められているかもしれない。</p>	<p>中央省庁へのアピールについては、具体的なプロジェクトをたてて、中央省庁と交渉にあたるのがよいという理事から助言をいただいた。そのようにしたい。地域・社会でのアピールについては、福井の伝統工芸アイドルグループ「さくらいと」とコラボして、遠赤センターの紹介動画を製作する等、プレゼンスの向上に努めている。「異分野融合研究」については、最近その研究数を飛躍的に伸ばしている。「地域連携」もいくつかの課題で開始している。</p>
<p>物理的な交流や国際活動の積極化、成果の可視化と情報発信の強化、そして長期的な展望の明確化に取り組むことによって、センターの活動の質と影響力をさらに高めることが期待される。</p>	<p>国際活動については、最近はことにアジア諸国との連携を促進しており、以前から交流が盛んであったフィリピンに加えて、ベトナム、インドネシア等とも教員や学生の招聘及び派遣を行っている。成果は、2年に1度遠赤センター主催で開催する国際ワークショップ (IW-FIRT) 等で発信している。2024年には、“The progress of far-infrared technologies in Asia”のテーマで国際ワークショップを開催したことで、よりアジア諸国の研究機関との結びつきを強めた。次回は2026年度に開催予定である。</p>